

## 「イチゴ生産技術開発の現状 2023」

日時 令和5年2月16日(木) 14:00~16:00

場所 オンライン形式

(配信元：愛媛大学・豊橋技術科学大学)

参加費 無料

(資料代別：1,000円)

定員  
100名

## 開催趣旨

イチゴの国内消費は伸び続けており、その市場規模は1,774億円にもおよぶ。また、輸出需要の高まりも顕著であり、輸出額は30億円に達する勢いである。一方、イチゴ生産者の数は減少しており、それに伴う生産量の減少が危惧されている。これはまさに、わが国の農業生産における重大な機会損失が生じつつあると言える。このような状況を解消し、イチゴ生産を活性化するためには、様々な技術開発によって低コスト化・軽労化・高収量化を達成し、稼げるイチゴ生産の体系を確立する必要がある。本セミナーでは、スマート農業技術を活用した日本産イチゴの活性化戦略、および、高精度植物生体情報計測(フェノタイピング)技術を用いた培地レス・イチゴ生産技術の開発を中心として、わが国におけるイチゴ生産技術開発の最新の状況を報告する。

## &lt; 次 第 &gt;

総合司会：藤内 直道(愛媛大学大学院農学研究科 助教)

14:00 開会の挨拶 有馬誠一(愛媛大学植物工場研究センター長、愛媛大学大学院農学研究科 教授)

14:05 「スマート農業技術を活用した日本産イチゴの輸出拡大を  
強力に後押しするスマート高品質生産・出荷体系の構築」曾根一純(農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター  
暖地畑作物野菜研究領域・施設野菜グループ長補佐)

14:35 「フェノタイピング技術を用いた培地レス・イチゴ生産技術の開発」

高山弘太郎(愛媛大学大学院農学研究科 教授、豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授)

15:05 「スマートフォンを用いたイチゴの生育調査」

戸田清太郎(豊橋技術科学大学大学院工学研究科 助教)

15:25 「生体情報を活用した培地レス・イチゴ生産の実証試験」

杉村安都武(三重県農業研究所生産技術研究室野菜園芸研究課)

15:55 閉会の挨拶 羽藤堅治(愛媛大学植物工場研究センター 副センター長、愛媛大学大学院農学研究科 教授)

16:00 閉会

主催 一般社団法人日本施設園芸協会、愛媛大学植物工場研究センター、豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

後援 日本生物環境工学会、農業情報学会、日本生物環境工学会 東海・四国支部、日本生物環境工学会生物生体計測部会、「知」の集積と活用  
の場産学官連携協議会 スマート・メガスケール植物工場研究開発プラットフォーム、CIGR(国際農業工学会) Plant factory and  
intelligent greenhouse WG、愛媛大学社会連携推進機構研究協力会スマート農業研究部会、培地レスフェノイチゴ(高精度フェノ  
タイピングに基づくイチゴ培地レス栽培技術の確立コンソーシアム)

事務局 愛媛大学植物工場研究センター、豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

問い  
合わせ先

愛媛大学植物工場研究センター人材育成プログラム(担当：神野・間宮)

☎ 089-946-9901 E-mail:zinzai@agr.ehime-u.ac.jp

お申込み  
フォーム  
URL<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo1/mpmailec/form.cgi>参加申込フォームより、お申し込みください。折り返し、受講料のお振り込み方法をメールにてご案内いたします。お振り込み  
の確認が取れましたら受付完了メールを送付いたします。講義前日までに、講義資料とweb受講URLのご連絡をいたします。  
申込締切：令和5年2月14日(火)正午お申込みは  
こちら